

ハイフライヤーズ 認可保育園キートスが「荷物のいらない保育園」を開始 ～保護者も保育者も負担なく子どもと向き合う時間を確保～



株式会社ハイフライヤーズ（<https://www.kiitos-kids.net> 本社：千葉県千葉市、代表取締役：日向高志、以下 ハイフライヤーズ）は、認可保育園でありながら園で使用する荷物を持ち込み不要とする「荷物のいらない保育園」の実施を 2022 年 1 月 17 日より開始しています。布団やオムツ、歯ブラシ、食事エプロンなど、保護者の金銭負担も無く毎日の通園準備から解放されることで子どもと保護者が向き合う時間を増やすことを目指します。

「荷物のいらない保育園」実施の背景

保育園に通うには、毎日たくさんの荷物を持ってきていただく必要がありました。毎日使用するオムツ、お尻拭き、食事用のエプロン、手や口を拭くタオル、歯ブラシ。それに加えて、毎週末には昼寝用の布団を持ち帰り家庭で洗濯・天日干しをしてまた週明けに持っていく必要があり、仕事と育児を両立する保護者にとってかなり大きな負担となっていました。

「ママ、抱っこして」

「ごめんね、できないから
ママのカバンにつかまって歩いて」



通園時の荷物の多さ

保育園を利用する多くの家庭が、通勤途中に子どもを保育園に預けるというルーティーンであり、通園時には前項目の荷物に加えて保護者自身の仕事用の荷物を持つことになります。

子どものことを抱っこすることはおろか、手も繋ぐことができない状況も見られました。



帰宅後や翌日の準備の負担

また帰宅後も食事で汚れたエプロンやタオルを洗濯したり、カビが生えないよう乾燥させたり、歯ブラシを洗いながら毛先は開いていないかチェックをしたりと、子どもの夕食・入浴・寝かしつけなどを行ないながらまた翌日使用するものの準備をしなければなりませんでした。



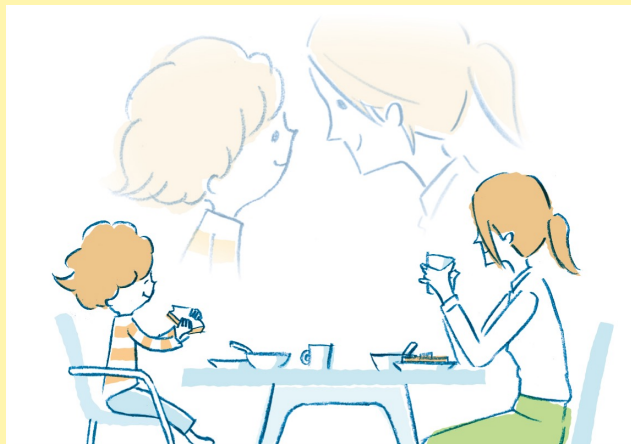
1つ1つの準備に長時間かかるわけではありませんが、頭の中で次にやることを考えながら時間に追われて準備をしている間、子どもと目を合わせてじっくり向き合うことはできているでしょうか。子どもが眠るまでの限られた時間の中で、最大限家族での団欒の時間を過ごすために保育園にできることはないだろうかと考えました。

子どもと向き合う時間を増やすための新サービスを提供

使用する荷物を園で用意する「荷物のいらない保育園」

そこでハイフライヤーズが運営する認可保育園キートスチャイルドケア・キートスベビーケアでは、保育園で使用する荷物を全て園が用意する「荷物のいらない保育園」をスタートしました。

「保育園の準備をしなくて良しとするのは、保護者に楽をさせて甘やかしているだけだ」という厳しい評価を受けたこともありました。しかし、仕事と子育てを両立しながら最大限保護者が子どもと向き合う時間を確保することが子どもたちの最大の幸せ・笑顔につながるという想いのもと、幾多の困難を乗り越えサービス提供開始まで辿り着きました。



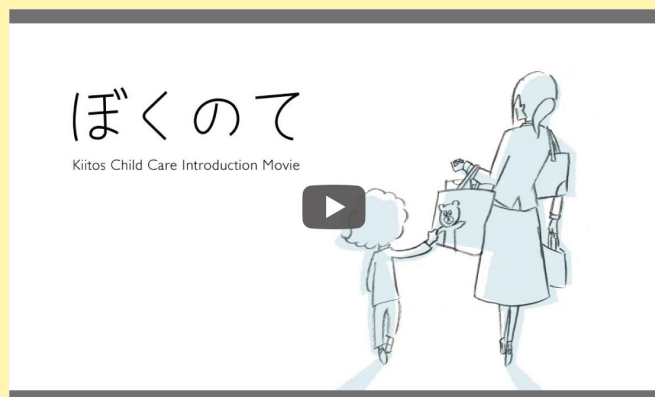
保護者と保育者の負担にならないサービス

保護者にとって、「準備をする手間は減ったけどその分金銭的な負担が増えた」というサービスでは意味がないと考えています。保育園を利用する方は様々な環境にいるため、子どもたちに提供するサービスが異なってしまう可能性からも、保護者が金銭負担をせずに荷物を用意することを大前提としています。

また保育者にとっても、負担を無くしたいという想いは同様です。

保護者がやっていたことを保育者が負担するということでは、昨今叫ばれ続けている保育者の負担軽減・待遇改善に逆行してしまいます。

例えば布団のクリーニングは専門業者に完全委託をするなど、保育者も同じく荷物にまつわる負担を減らすことで子どもたちと向き合い全力で保育を提供する時間を確保しています。



コンセプトムービー「ぼくので」

ハイフライヤーズは、運営園が1園だった頃から荷物のいらない保育園を目指し、その想いを伝えるためにコンセプトムービーを制作しておりました。この度やっと、10年越しに想いを達成することができました。

「荷物のいらない保育園」コンセプトムービー
<https://youtu.be/Qx7GsiJviu0>

これまでの通園時の風景と実際の荷物の量

保護者が用意する実際の荷物



毎日の荷物はオムツ、お尻拭き、食事用エプロン、手や口を拭くタオル、洗濯物の持ち帰り用袋、歯ブラシ。週初めと週末には昼寝用の布団も必要でした。

これだけの荷物があると、抱っこすることはもちろん手を繋ぐこともままならず、子どもに我慢してもらわなければならない状態でした。



「荷物のいらない保育園」になると

これからの通園時の風景と園で用意する荷物

園で用意する実際の物



オムツとお尻拭き



食事用エプロンと手口拭きと歯ブラシ
(使い捨てのものを使用し、個人用の管理等の保育者負担を無くします。)



昼寝用布団も園で用意。洗濯も専門業者に依頼することで保育者の負担を減らし、子ども達もふかふかのお布団でお昼寝できます。



荷物が減ることで子どもとの距離が近くなり、帰宅後に準備をしていた時間や通園時間が、子どもとゆったり向き合うことができる時間になります。



コロナ禍における「荷物のいらない保育園」

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、子どもたちにとって周りにいる大人が全員マスクを着用していることは当たり前の時代になりました。気軽に外出したり、他人と食事に行ったり、握手すらできない時代の中で、子どもたちが唯一安心して手を繋ぐことができる相手が家族です。親子がしっかりと向き合い手を繋いでいられる時間を確保するために、保育園にできることは保育園が行なう。“withコロナ”の新しい保育園の形として「荷物のいらない保育園」の実施が親子の幸せに繋がると考えています。

今後の展開

現状は洋服以外の荷物を全て園から提供しています。2022年度中には洋服も園で用意して完全に荷物のいらない保育園を目指しており、協力企業を探しています。

保育園を利用している保護者が子どもと向き合う時間は朝と夜に限られますが、それは可哀想なことでも何かが不利になることでもありません。

日中保育園で過ごす子どもたちは、保育者やお友達との関わりの中で目一杯笑い、楽しみ、様々な成長を得ています。朝起きてから保育園に行くまでの間、夕方おうちに帰ってから眠るまでの間、限られた時間の中でも家族がまっすぐ向き合ってお話を聞いてくれたり、大好きな家族とゆっくりご飯を食べて手を繋いで通園することができたら、それは子どもたちにとってとても幸せなことであると信じています。

また子どもたちのこれからの人生の基盤となる乳幼児期において、「ママはまっすぐ自分の話を聞いてくれる」「パパは忙しくても絶対に自分のことを見てくれる」と実感する体験は、今後健やかに成長していくうえで必要な“自己肯定感”を育むことにも繋がると考えています。

ハイフライヤーズでは、今後も利用者のニーズに寄り添いながら子どもたちの最善の利益を守り、利用者満足度を向上させることを最大のミッションとして保育サービスの提供を続けていきます。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

【会社概要】

会社名：株式会社ハイフライヤーズ (<https://www.kiitos-kids.net>)

千葉県内にて認可保育園 キートスチャイルドケア・キートスベビーケアを運営しています。保育園が持つ固定観念を払拭し、保育業務のDXを推進する事で社員が自発的にイノベーションを生み出せる組織を目指しています。株式会社として正しく認可保育園を運営し、子どもたちをはじめ保護者、社員、全てのステークホルダーに対して最大限利益を還元し利用者満足度を向上させることをミッションとして保育サービスを提供しています。人とのつながりを大切に、子どもだけでなく保護者も社員も「また明日も来たい保育園」であるために、今後も様々なことに取り組んでまいります。



【各種お問合せ先】

お問合せ先：kiitos@highflyers.co.jp / 043-301-2633

園見学お申込み：https://x.gd/kiitos_ptimes1

取材お申し込み：https://x.gd/kiitos_ptimes2